

ぶどう適正な栽培管理を

～ぶどう栽培講習会～

石川ぶどう部会と尾上ぶどう部会は5月29日、弘前地区農協ぶどう連絡協議会主催の栽培講習会に参加した。石川管内の園地に18人が集まり高品質のぶどう生産のため、今後の栽培管理について学んだ。

中南県民局地域農林水産部の近藤伸子主査が講師を務め、スチューベンとシャインマスカットの生育状況と開花前後の栽培管理について「生育は平年より早くスチューベンの開花予測日は6月15日。シャインマスカットはスチューベンより少し遅い程度」と説明。花穂（かすい）に養分が流れるように1回目の摘芯はどちらも開花1週間前頃から速やかに行うことを呼び掛けた。



生産者に説明をする講師の近藤伸子主査（中央）

充実したカリキュラムで楽しく学ぼう

～第6期女性大学「みらいカレッジ」開講～

第6期となるJA津軽みらい女性大学「みらいカレッジ」が5月31日、開講した。今回は16人が入校した。

初回講座では、たかち総合事務所の税理士・高地豊人さんを講師に迎え、相続の税金と対策や知って得する金融商品を選ぶポイントなどお金に関することを学んだ。

同大学は、管内の女性が教養、文化、福祉、教育などの学習を通して生活の充実と、こころ豊かな地域づくりで、次世代リーダーを担う女性リーダーの育成をめざす。概ね12回の講義で、営農・生活・健康などの教養を楽しく高める。



マネーの基礎知識を高めた受講生

「青天の霹靂」トップブランドへ

～「青天の霹靂」生産指導プロジェクトチーム 第2回連絡会議～

中南地域「青天の霹靂」生産指導プロジェクトチームは5月14日、津軽みらい農協特A米プレミアム研究会員の横山英樹さん（常盤管内）の育苗ハウスで第2回連絡会議を開いた。行政や各JAの指導担当者らが出席。苗の育苗が順調であることを確認し、今後の栽培管理について意識統一を図った。

横山さんのハウスでは、葉齢3～3.2葉、苗長15センチと順調な生育。横山さんは「朝晩寒い日が続いて心配していたが、苗揃いが良い。安全・安心でおいしい米作りを頑張る」と意気込みを話した。

当JAでは、340経営体が県内生産量の約半数となる943ヘクタールで栽培する。生産基準が設けられていることから、県などの行政や生産者と一体になり、高品質・良食味米生産に取り組んでいく。



苗の育苗の確認をするプロジェクトチーム